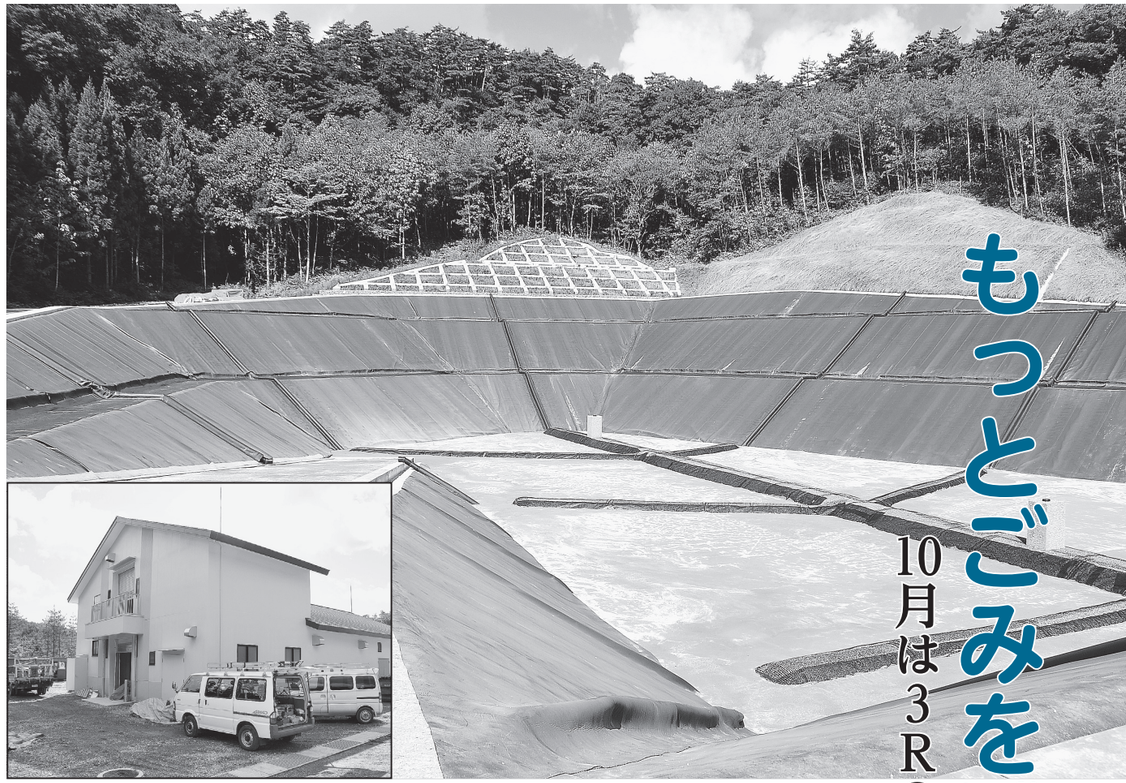


12月から使用予定の松尾・栗日影沢の最終処分場と処分場に併設されている浸出水処理施設（左下）

もっとごみを減らせるのでは

10月は3R（リデュース・リユース・リサイクル）推進月間です

現在使用している最終処分場の埋立処分期限が、平成25年3月までとせまる中、22年度から建設している新しい最終処分場が11月末で完成する予定です。これを機会に市のごみの量について状況を確認し、みんなでもっとごみを減らす方法を考えてみませんか。

11月に新最終処分場完成

平成22年度から建設している市一般廃棄物最終処分場は、11月末に完成する見込みで、12月中旬から使用を開始する予定です。最終処分場は、再利用や再資源化が困難なごみを埋立処分する施設ですが、処分可能な量や期間は限られています。

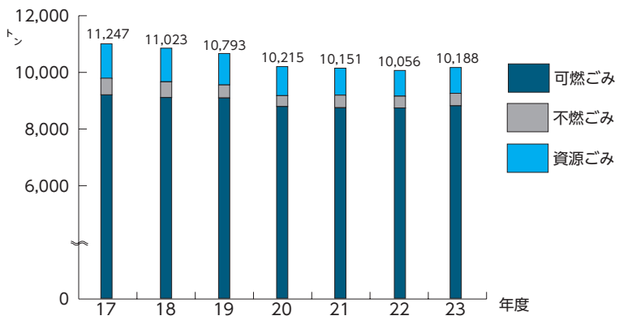
合併後のごみの量の推移

17年度から23年度までの市清掃センターに搬入された一般廃棄物の量を表1に示します。

合併後から、一般廃棄物は年々減少傾向にありましたが、近年は横ばいとなっていることが分かります。これからもごみを減らしていくために、私たちはどのようなことができるのでしょうか。

その方法の一つが「3R」を意識し、実行することです。次に、「3R」とは何かを紹介します。

表1　市清掃センターの一般廃棄物搬入量　※災害廃棄物は含まず



3Rとはどんな行動なの

10月は「3R（リデュース・リユース・リサイクル）推進月間」です。

3Rとは、「ごみの発生を減らす（リデュース）」「繰り返し使う、再使用する（リユース）」「資源として再び利用する（リサイクル）」という3つの行動のことです。3Rは、限りある資源を有効に使ってごみを減らし、エネルギーの無駄遣いや二酸化炭素の排出を減らすためのキーワードでもあります。

環境に配慮した生活を心掛ける人が増えている中、たくさんの人が身近なことから3Rの活動を始めています。皆さんも、3Rの取り組みを広げていきませんか。

ごみを減らすリデュース

ごみを減らす「リデュース」への第一歩は買い物の時に始まっています。

例えば、店でもらうレジ袋は、その大半がごみになっています。このレジ袋を減らすための取り組みが、マイバッグの持参です。

買い物をする時には、マイバッグの持参と併せて、ごみを少なくするために、次のようなことも心掛けてみましょう。

▼過剰包装や不要な包装は避ける。
▼容器は再使用できるものを選び、詰め替え商品を利用する。
▼長く使えるものを選ぶ。

外出時にはマイ箸やマイボトルを持ち歩くこともごみの減量につながります

同じ用途で使うリユース

「リユース」とは、一度使い終わったものを、そのままの形、同じ用途で、もう一度使うことです。

古着や古本、中古の家具・家電などを売ったり、買ったりするのもリユースです。最近は、中古品を取り扱うお店だけでなく、フリーマーケットやインターネットオークション（インターネットを利用して一般の人が出品や入札をする取り引き）などでも、中古品の売買が盛んに行われています。

新しい資源にリサイクル

使用済みになって使えなくなったものを、もう一度資源として利用することが「リサイクル」です。家庭から出る缶や瓶、古紙、ペットボトルなどの資源ごみがリサイクルされるためには、私たち一人一人がきちんと分別収集のルールに従って、資源ごみを出すことが重要です。

分別収集された資源ごみは、市や事業者によって回収され、再資源化されて、新しい商品に生まれ変わります。そのリサイクル製品をみんなが利用することで、初めて資源循環の輪がつながります。

資源ごみを分別して出すだけでなく、リサイクルされた製品を生活に取り入れることも、リサイクルを進める行動の一つです。

3R取り組みの順番は？

3Rを実践していくときに覚えておきたいのが3Rの優先順位です。

まず一番に優先したいのは、「リデュース」です。すぐに使わなくなったり、いらなくなったりするものは、ごみを増やす原因になります。商品を買う時から「ごみを増やさない」「ごみを減らす」という二点を意識することが重要です。

次に優先したいのが、「リユース」、そして最後に「リサイクル」です。同じ形のまま、繰り返し使うリユースは、リサイクルよりもエネルギーを使わずに、ごみを増やさない、より環境にやさしい取り組みです。

次ページでは、チェックシートを利用して、具体的に自分自身の3Rの活動を点検してみましょう。

ごみの出し方を守っていますか

収集場所に出せるごみの種類や出し方を確認してみましょう。

■収集場所に出せるごみ

▶**燃えるごみ**＝燃えるごみ専用指定袋に入れて出す。
▶**燃えないごみ**＝市指定の青いかごに入る大きさのごみだけ。
▶**空き缶・空き瓶類**＝市指定の赤いかごに入れる。（袋に詰めない）
▶**新聞紙・雑誌・段ボール類**＝紙ひもで結んでまとめる。
▶**ペットボトル・トレイ類・危険ごみ**（ボンベやスプレー缶など）＝リサイクル専用指定袋に入れて出す。

■収集場所に出せないごみ

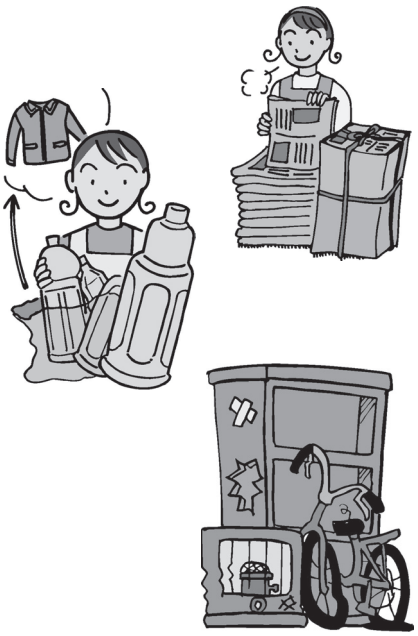
▶**指定袋やかごに入らないごみ**
▶**引火の恐れ・有害性があるごみ**
▶**埋め立てをするごみ**

※これらは、直接清掃センターなどへ搬入してください。

3Rの活動をチェックしてみよう

家庭で3つのRが実践できているかを確認

次のチェックシートに、それぞれ代表的な3Rの活動を示しています。皆さんの普段の行動を点検してみましょう。チェックできなかった項目は、これから取り組んでいくように心掛けてみてください。
また、ここに無い項目を自身で探してみましょう。



リデュース Reduce
ごみの発生を減らす

- ☐ マイバックを使用し、レジ袋を使わないようにしている。
- ☐ 過剰包装は断るようにしている。
- ☐ 余分に買い過ぎず、必要なものだけを買うようにしている。
- ☐ 野菜はまるごと使い、調理くずなどを出さないようにしている。
- ☐ 料理は適量をつくり、食べ残しを出さないようにしている。
- ☐ 生ごみはよく水気を切ってから捨てるようにしている。
- ☐ 外出する時は、マイ箸やマイボトルを持ち歩くようにしている。
- ☐ シャンプーなどは、詰め替え商品を購入している。

リサイクル Recycle
資源として再び利用する

- ☐ トイレットペーパーなどは、再生品を選んで購入している。
- ☐ 牛乳パックや食品トレイは、洗って資源物の収集日に出している。
- ☐ リサイクルショップを利用するようにしている。
- ☐ 空き缶、ペットボトル、空き瓶は、分別して資源物の収集日に出している。
- ☐ ペットボトルは中を洗って、キャップを外して出している。
- ☐ 生ごみは堆肥化して使用している。
- ☐ 使わなくなった家電をそのままにせず、業者に回収してもらうようにしている。
- ☐ リサイクルについての正しい知識を身につけるために情報収集をしている。

リユース Reuse
繰り返し使う、再使用する

- ☐ 繰り返し使える瓶容器（ビール瓶などのリターナブル瓶）を使用し、きちんと店に持っていくようにしている。
- ☐ リサイクルショップやフリーマーケットを積極的に活用している。
- ☐ ラップを使わず、ふた付きの容器などを利用している。
- ☐ 着られなくなった洋服を他の人に譲るようにしている。または、雑巾などにリメイクして使っている。
- ☐ ちらしの裏紙をメモ用紙などにして使用している。
- ☐ 家具や家電製品などは、修理して使用している。
- ☐ なるべく長く使えるものを買っている。